

WEB講習会

コロナ禍のご時世で、講習会、研修会が中止となっていますが、このほどWEB上で開催された資格取得のための講習会に参加してみました。

Zoomというテレビ会議システムを使い、先生の講義を聞くのですが、違和感がなく、立ったり座ったり、集合講習会ではちよつと行儀の悪いことも許されるので、眠くなることもありませんでした。

とうとう岩手でもコロナウィルスの感染者が出てしまいました。接触を回避できることはできるだけ実行していきましょう。製造現場は難しい面もあります。感染予防の生活習慣を励行しましょう。誰でもコロナウィルスの鎖で繋がる可能性がある以上、一人一人の自覚が求められます。



～選択肢～

巷はコロナの影響で明るい話題がない中で、高校生棋士藤井聡太さんが史上最年少で棋聖のタイトルを獲得した。将棋は局面ごとに最善を探すゲームである。

AかBかを判断した後、それぞれにAかBの判断しなければならぬ局面が続いた場合、10手先には、1,024の選択肢が待っている。実際は外的要因（相手）がAかB以外を選択する場合があるので、何億という選択肢が広がっている。人間は明らかにあり得ない局面は排除できるが、コンピューターは1手ごとしらみつぶしに検討してしまうので、1局面ごとご苦労なことに何億手を読み続ける。将棋に限らず世の中は選択肢にあふれている。豊臣秀吉の側近がある時、褒美をもらえることになり、なにがいいかと尋ねられた時、米一粒を前日の倍にして100日間欲しいと言ったそうだ。たやすいことと秀吉は褒美を与えたが、1か月もすると米蔵がなくなってしまうことに気づき、勘弁してもらったという逸話がある。人間は将棋ゲームのように日々勝ち負けを争っている訳ではないので、無駄と思われる選択肢の検討はしない。ただ、小さな選択の積み重ねが大きな結果になってしまう現実は確かにあるだろう。選択の感性を磨くことが幸せな毎日を過ごす秘訣かもしれない。はるか昔に選択した古女房を見ながら妄想してしまうのであった。



～ついに岩手県発生～

3月から数えて約5か月もの間、岩手県ではコロナ感染者ゼロが続いておりましたが、数日前に2名、それに関連して数名の感染者が確認されました。テレビの街頭インタビューでは、一様に「これまで出てこなかったことが奇跡」とコメントされ、本当にそうだなあと感じました。

これまでは他県への出張や、他県から来る方への警戒でしたが、今後は感染県として日常の感染予防の行動が求められます。後一年ぐらいいはこのような状況が続くと思われませんが、経済はじめ、本当にどうなるか不透明です。不安は尽きませんが、何はなくても命あってのこと、自分が感染しないことが相手のためになる一番のことと捉えて感染しないよう予防を徹底していかなければならないと強く思いました。

来月またこのようなコラムを書かなくて済むよう祈っております。



我々猫族は犬のように尻尾を振らない。餌を前にしても人間に媚びを売って欲しがるとはしない。生まれながらにして感情の抑揚を制御できるようになっている。愛想がないと思われがちだが、これも生きる知恵なのだ。人間の世界ではこのほど、道路交通法という法律が変わった。運転中に起こるイライラや怒りが継続すると感情を抑制することができなくなり、その状態で運転するとあおり運転につながるらしい。



法律ではかなり厳しい罰則が決められた。

そんな法律改正の周知を含めて、夏の交通事故防止運動に合わせ二戸警察署による広報活動がトラック協会会員を集めて実施された。自分は大丈夫と思うことなかれ。



猫から見れば人間は生き物の中で一番感情的な生き物なのだから。

今月の一言 「適度な間が余裕をつくる」

積一杯

春先、例年通りプランターにキュウリ、トマト、ピーマン、ナスを植えた。手入れは全くしなくても、毎年それなりの収穫はあったのだが、今年は長雨と日照不足が原因かキュウリとナスが1本ずつ、トマトが数個実をつけただけで、まったく元気がなくなった。貴重な収穫に感謝しながら味わうこととする。



編集後記

毎年、お盆前になると墓誌の追加彫りの注文が多く大変だと聞かされ、腕まくりをしながら構えていたが、あまりない。何人かの和尚様たちが、『今年はコロナのせい、充分な予防をしているお年寄りが多いのではないかと。コロナ状況の中にも意外な良いこともあったりして。』